

会議録

1 会議名

令和7年度 第5回津有区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 自主的な審議（公開）

- ・自主的審議事項について

3 開催日時

令和7年10月21日（火）午後6時30分から午後7時32分まで

4 開催場所

ファームセンター 農事研修室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名

・委員：青木委員、近藤委員、中島会長、服部委員、藤井（潔）委員、藤井（光）委員、
丸山（明）委員、丸山（勝）委員、丸山（孝）委員、山本委員（欠席2名）

・事務局：中部まちづくりセンター 井守所長、村山副所長、渡邊係長、鈴木主事

8 発言の内容（要旨）

【村山副所長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【中島会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・挨拶

【村山副所長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【中島会長】

- ・会議録の確認：丸山(勝)委員に依頼

次第3 議題「自主的な審議」の「自主的審議事項について」に入る。事務局の説明を求める。

【鈴木主事】

- ・資料1に基づき説明

これまで、自主的な審議の方向性とテーマを設定するための参考として、「地域の声を聞く」で聴きたいことの内容と団体の抽出を行ってきた。その結果、「コミュニティ・その他」の分野の意見が一番多く、その中でも「公民館」に関する意見が多かった。これらのことから、資料1②の段階で、市の社会教育課及び津有地区公民館の大島主事から公民館事業に関する説明を聞いた。

また、地域コミュニティの最小単位である町内会へ活動状況や役員構成などの現状に関するアンケートを実施した。そして、8月の地域協議会にて、アンケート結果の分析及び公民館事業の説明を聞いた感想を皆さんから伺い、それぞれの現状から見えてきた地域課題の抽出に移ることとした。

しかし、そもそもどのような課題があるのかという部分を皆さんに協議いただいているため、「③団体からの話を聴いた上で、課題の整理」とあるように、本日は、これまで聞いてきた話を基に津有区の強み・弱みを協議していただき、次回以降、これらをまとめ、課題の整理に入っていきたい。進め方について、皆さんのご意見をお伺いしたい。

【中島会長】

ただ今の説明について、質問、意見はあるか。

(発言無し)

それでは、本日は課題の抽出に移る前に、津有区の強み・弱みを協議することとしてよいか。

(よしの声)

本日の協議の進め方について、事務局へ説明を求める。

【鈴木主事】

本日は、南部・北部の2グループに分かれ、町内会のアンケート結果と公民館の話を聞いて考えた津有区の強みと弱みについて、2回協議していただく。

資料2に例を挙げたが、町内会の強みであれば「防災訓練、祭り、美化活動など、行

事や活動が継続されている」ところ、弱みは「若い世代の参加が少なく、参加者が固定化している」ところなど、自由に発言いただいて構わない。1回20分話していただいた後、発表時間を5分ほど取る。各グループの書記及び発表は事務局が担当する。

【中島会長】

ただ今の説明について、質問、意見はあるか。
(発言無し)

それでは、グループに分かれ、まずは「町内会」についての協議に移る。
(各グループに分かれて協議)

それでは、南部グループから発表を求める。
南部グループ

【渡邊係長】

町内会活動がコロナなどで中止や縮小したものもあるが、今のところ、不都合のない程度で顔が見える距離感にある。ただ、懇親会の準備と片付けの負担が大きいということもあり、飲みニケーションがなくなった。理解はできるが、顔が見えにくくなつた。

今の南部には、企画運営をして地域を引っ張っていく、リーダー的存在がなかなかいないのが弱み。そういう人がいると、集落同士もまとまるのかもしれない。

【中島会長】

南部グループから補足はあるか。
(発言無し)

続いて、北部グループの発表を求める。

北部グループ

【鈴木主事】

町内会や子ども会の活動について、祭りなどの祭事関係等の最低限のことは、これまで継続されているので、地域の方からも必要だと思われているのではないか。その実施方法も時代に合わせている。

役員についての強みは、負担をなくす方向で動いていたり、町内会長の皆さんのが集まつた時に各町内の情報を収集し、参考例が聞けたりするところ。

弱みは、参加者の固定化が見られるほか、最低限のことをやろうとしてきたあまり、規模が徐々に小さくなってしまい、さらにその中で親睦の機会も減っていること。

【中島会長】

北部グループから補足はあるか。
(発言無し)

次に、「公民館」についての協議に移る。
(各グループに分かれて協議)

それでは、南部グループから発表を求める。
南部グループ

【渡邊係長】

弱みとして、公民館の仕事が見えてこない。どんなことをしているのか、やはり回覧だと目に留まりにくいのではと思われる。今時だとスマートフォンで見られるようになるなどの工夫が必要ではないか。ただそれは、今の高齢者向けというよりも、今の若い人たちが10年後、20年後にもっと公民館を活用できるようにするための素地を今から作っていけたらよいのではないか。

公民館の建物が物理的に南部からは遠いので、行きやすさが大事なのではないか。地域協議会で毎月行くまでは、南部の方にはあまりなじみのない建物だった。そもそもあそこが津有地区の公民館だと認識していなかった。町内会館や集落センターには公民館という看板が掛かっているので、話していると混同してしまう部分もある。

それから、公民館事業に参加しようとしても、1人だとなかなか行きにくく、ハードルが高いので、入り口を広げていただき、参加しやすい雰囲気があるとよい。

なお、先ほどのスマートフォンの活用の参考例として、諏訪区では、有線放送がなくなった際、住民組織の「諏訪の里づくり協議会」が地域の公式LINEを作り、公民館の情報やイベントの回覧チラシなどを掲載して、いつでも見られるようにしている。

【中島会長】

南部グループから補足はあるか。
(発言無し)

続いて、北部グループの発表を求める。
北部グループ

【鈴木主事】

強みは、最近、小学校などの統合が進められる中で諏訪区や高士区と津有区がつながる機会も増え、もともとあったつながりをより深めることができている。また、公民館主事が地域で集めた情報を、公民館だよりや町内の各公民館担当を通じて、各町内や地

域へ共有していただいている。

弱みは、平日に活動や事業が多いので、若者などが参加しづらい。現役世代については、今は自分でやれることが増えているので、公民館事業に参加しなくなっている。また、公民館の知名度が低く、活動内容もあまり伝わっていないので、もっと知つてもらうべきではないかとの意見であった。

【中島会長】

北部グループから補足はあるか。

(発言無し)

本日、各グループで話し合った内容については、事務局と整理させていただく。

以上で、次第3議題「自主的な審議」の「自主的審議事項について」を終了する。

次に、次第4その他「(1) 次回開催日程」に入る。事務局の説明を求める。

【村山副所長】

・次回の協議会について説明

— 日程調整 —

・次回の地域協議会：11月18日（火）午後6時30分から

津有地区公民館 大会議室（予定）

【中島会長】

以上で次第4その他「(1) 次回開催日程」を終了する。

次に、次第4その他「(2) その他」に入る。

その他、何かあるか。

(無しの声)

・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。